

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	茶源郷和東活性化対策プロジェクト		実施期間	平成27年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>和東町は、少子高齢化や若年層の転出等で人口が毎年100人程度減少しており、このままでは和東町全体が限界集落に近い状況になることが予想される。それを防ぐためにも、雇用創出や交流人口の増加をより一層図るとともに住民との協働によるまちづくりを進めて定住人口の維持あるいは増加に繋げていく施策が必要とされている。</p> <p>また、本町の基幹産業である「お茶」は、生産量、生産額とも府内一という実績であるが、山間部という地形から機械化が図れず、生産規模拡大が進まない状況にある。茶農家の高齢化も進んでおり、茶畑の維持が困難となった結果、管理放棄された荒廃茶園も見受けられる。さらに近年、「お茶」の販売価格も伸び悩んでおり、知名度の向上や品質の向上はもちろん、茶農家の担い手育成などへの積極的な取り組みが必要とされている。</p> <p>あわせて、「茶源郷和東」の知名度を高め、地域資源の活用と2次・3次産業との融合による6次産業化を推進するとともに、京都府景観資産登録第一号に認定された茶畑景観を保護し、観光客誘致に活用するなど、交流人口の増大による、町の活性化が求められている。持続可能なまちづくりを目指し、長期的な視野に立った地域社会の活性化、ひとづくりが必要とされている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「和東茶」や「茶畑景観」を活用した取組、「日本で最も美しい村」連合による取組、さらには宇治茶の「世界文化遺産登録」に向けた動きを活用し、交流人口の増加を図るとともに、地域ブランドの確立及び知名度の向上を図る。 ・そのために、和東町と住民、近隣市町村や大学連携等が一体となったまちづくりを進め、町のさらなる活性化を図る。 ・和東町PR事業、出品茶推進事業などを通して宇治茶の主産地としての知名度を上げ、宇治茶の郷 和東として消費拡大、雇用確保、高収益型の農業経営を確立し、茶農家の生産意欲向上を図る。 ・職員の意識改革、自ら行動し成果を出す職員の育成に取り組む。 ・和東町独自の生業景観保全のため、住民や大学とともに和東の景観を活かしたまちづくりを考え、景観計画及び景観条例策定に取り組む。 							
	総事業費（千円）	16,771	本年度事業費（千円）	16,771	交付金額（千円）	8,128		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	和東町協働のまちづくり・ひとづくり推進研究事業	交付対象事業	早稲田大学との協働により、まちづくり・人材育成を図る		・和東町の中でも特に過疎高齢化の進行が速い湯船区の、マウンテンバイクコースを軸とした活性化について、成果の振り返りと現在の課題、今後の取組について整理した。			
	茶源郷行政情報配信システム運営事業	交付対象事業	ICTを利用した地域情報化の実現		より快適で便利な暮らしを実現するため、高速通信網を活用し和東町から住民へ行政情報を配信した。			
	和東町PR事業	交付対象事業	全国町村会主催の「町イチ！村イチ！2015」に出展		首都圏をはじめとして多くの人に広く和東町を知ってもらうことができた。			
	日本で最も美しい村連合事業	交付対象事業	NPO法人「日本で最も美しい村」連合活動費		新規のポスターやパンフレットの作成を行い、和東町のPRを行った。			
住民協働事業	和東山の家おもてなし推進事業	交付対象事業	リニューアルに伴うHPの作成や広報活動に係わる事業費		平成28年度のリニューアルオープンに向けてWEB上の予約システムの構築などを行った。			
	出品茶推進事業	交付対象事業	茶品評会に出品する和東町出品茶推進委員会に対して補助		出品の奨励や摘み子の確保等を行い、町内出品茶の振興発展を図った。 京都府茶品評会出品数：合計16点			
住民が取り組む事業	景観を活かしたまちづくり事業	交付対象事業	景観計画・条例策定に係る事業費		京都府景観資産登録第一号に認定された茶畑景観保護等のための景観条例制定に向けた景観計画策定委員会を設置し、景観計画の策定を行った。			
	和東町協働のまちづくり補助金事業	交付対象事業	地域住民によるまちづくり活動に対して補助		地域課題を解決するために活動している住民団体（本年度は5団体）に活動費を補助することで、町内での防災体制の構築や、町内外の住民の交流機会の増大を図った。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：和東町

成果指標①	成果指標の目標数値	■ 交流人口 H25 71,315人 → H27 80,000人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	■ 観光入込客数 H27 81,783人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	日本遺産の認定や美しい村連合の活動などのPR活動が交流人口の増加につながった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—
成果指標②	成果指標の目標数値	■ 茶源郷まつり来場者数 H26 7,000人 → H27 7,500人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	■ 茶源郷まつり来場者数 H27 7,200人	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	町民全体が「茶源郷和東」のまちづくりに向けて関心と関わりを持ったことが来場者数の増加につながった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること		・住民との協働で開催される「茶源郷まつり」では住民相互のコミュニケーションが促進されたとともに、町全体での観光客の受け入れ体制へとつながった。 ・町内で積極的に地域課題の解決に取り組む団体を応援することにより、町内外の住民が参加したこれまでにない新たな公益的・社会貢献的なまちづくり活動が行われた。 ・交流人口25万人に向けて、引き続き観光客受け入れ体制を整えとともにPRを積極的に行う。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・フォトスケッチコンテストの開催により、住民の郷土愛の醸成につながり、町外の方へのPRにもつながった。 ・同様に茶源郷まつりも、11のエリアに117店舗が出店するなどして過去最高の来場者数を記録し、町外からの多くの観光客が訪れ、和東町のPRにつながった。 ・未来づくりセンターの整備により、住民間で地域活性化について取り組む姿勢がより強くなった。				
	府と市町村等との連携に資する成果	宇治茶の生産量の大部分を占める本町にて、茶業の推進を図ることで、山城地域を中心に府が世界遺産への登録を目指している「宇治茶」ブランドの価値の向上につながった。				
	住民の自治意識を高める成果	・住民団体の主催で、基幹産業であるお茶に関連した茶道教室に外国人を含めた多くの方が参加したり、抹茶アートの教室が好評を得るなど、住民自身の町の活性化への意識向上につながった。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	・茶源郷まつりをはじめとして、住民団体主催のイベントなどにも多くの来場者があり、「茶源郷和東」のPRにつながった。 ・「日本で最も美しい村連合」の活動により、全国に「茶源郷和東」をPRすることができた。				
	行財政改革に資する成果	・早稲田大学の中村講師が代表理事を務める(一財)地域経営推進センターと協働し、湯船地区のマウンテンバイクコースを軸にした活性化について、これまでの成果と現在の課題、今後の取組について整理することができた。				
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。